

※ 今週のアウトLOOK(6/2～6/6)

先週は、米ドル売りの一服感から、幾分円安となる通貨ペアが多かったようです。ただ、それほど大きな動きとはなっていないようです。

今週は週末に米国雇用統計を控えて、木曜日までは大きな動きはなさそうです。週末の雇用統計の発表にサプライズ的なものが含まれていた場合にも、それほど大きな動きとはならない可能性もありそうです。

先週ドル円は142円付近から反発して、木曜日には146円台まで到達しましたが、週末には幾分下落して144円台で終了しています。

今週は、雇用統計の発表を控えて様子見的な動きとなりそうですが、トランプ大統領の関税に関する発言には、相変わらず注意が必要のように思います。

ドル円の予想レンジは139円から148円です。

ユーロドルは1.15付近のレジスタンスが厚いようで、停滞状態が続いています。あまりこの状況が長引くと、1.1付近まで一度下落する可能性が高まりそうです。

ユーロ円は164円付近まで一度上昇しましたが、165円付近のレジスタンスはいささか厚いようで、週末には163円台まで戻されています。しばらくレンジ内の動きが続きそうです。

ユーロ円の予想レンジは160円から165円です。

ポンド円は一度は195円を超えたものの、週末には再び193円台まで戻されて終了しています。

196円付近のレジスタンスはいささか厚いように思われます。しばらくレンジ内の動きとなる可能性が高まりそうです。

ポンド円の予想レンジは192円から196円です。

相変わらずトレンドが変わりやすい状況となっています。米国雇用統計の発表にも余程のサプライズがない限り、大きなトレンド形成の要因とはなりづらいかもしれません。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。